

よりよく生きる

3年生道德授業の紹介「電車の中で」（読み物資料）

【資料のあらすじ】

主人公・タケシは、電車の中で同じ塾の女子二人が男性に席を譲る場面を見掛ける。タケシは、先週の日曜日の出来事を思い出す。空いていたボックス席に座ろうとするが、ケンたちが「席に座ると高齢者とトラブルになるから座らない」という話を聞いたタケシは、しぶしぶ席を立った。面倒になるからと席を立っていたのに、高齢の夫婦から感謝され褒められた。1週間前の出来事を思い浮かべながら、タケシは女子二人の顔を見つめた。



自分たちと女子二人を比べてみて・・・（生徒の意見）

- ・女子二人は、善意からの行動を取っているけど、自分たちはただ面倒を避けたいと思っただけの行動で、善意がない。
- ・行動自体は両方、正しい結果にはなったが、友達のほうの考え方には賛同できない。
- ・女子二人は、座っていた上で席を譲ったけど、自分たちは立っただけで席を譲ったとは言えなかった。その状態で、「ありがとう」と言われたことに驚いた。
- ・自分たちは、ただ面倒ごとを避けただけなのに、お礼を言われてモヤモヤしていた。

今日の授業の感想を書きましょう。

- ・こういう場面は、考えれば考えるほど難しいことだと思うけど、僕だったら誰に何を言われようが、お年寄りが来たら席を譲ると思います。
- ・僕は、この授業で高齢者に対する接し方というのは難しいものだと思います。僕は、女子の行動を見習いたいと思いました。
- ・女子の行動がとても優しくかったのに感動しました。男子は面倒ごとを避けているだけだから、少し嫌な気持ちになりました。僕も善意で席を譲れる人になります。
- ・私は、まだ大きな思いやりのある行動を取れているとはいえないので、この授業をきっかけに、いつか思いやりのある行動ができるようになったらいいなと思いました。
- ・人を思いやることを大切にしたいなと思いました。自分がした思いやりの行動は、ブーメランのようによい形で返ってくると思うので、思いやりの行動を増やしていきたいです。

今回の授業は、思いやりとは相手を気遣いながら関わろうとする心であり、その心を形にしてこそ相手との心の通い合いが生まれることが自覚できる内容でした。

中学3年生になると、相手の立場や気持ちへの配慮について理解できるようになり、それらが同情や哀れみとは違うことも分かるようになります。他者の立場を尊重する態度、そしてその心を形にして表すことが、自己と他者との心の通い合いをより強くしていくことにつながっていくのではないかと思います。